

# 第34回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2019年11月調査)

～ 景況感は2期連続で悪化。先行きも引き続き慎重な見通し ～

## 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲7.6（前回調査比5.7ポイント下落）と2期連続の悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「営業利益」が改善した一方、「売上高」と「資金繰り」はともに悪化し、「人員人手」は2期連続でプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、サービス業が2期ぶりに改善した一方、建設業は2期連続の悪化、製造業は4期連続の悪化、卸・小売業は4期ぶりの悪化と、3業種で悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲6.5（前回調査比12.9ポイント下落）、中央は▲3.6（同3.1ポイント下落）、県南は▲15.4（同6.2ポイント下落）と3地域すべてで悪化となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲19.1（今回調査比11.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。

## 【 特別調査 】

- **冬季ボーナス**の支給予定について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では66.2%（前年比1.2ポイント上昇）と、前年に比べて若干上昇し、5期連続での上昇となった。  
また、冬季ボーナスの支給予定額は全業種平均で29.6万円と、昨年に比べ0.5万円の増加が見込まれている。

2019年12月

株式会社フィデア情報総研

## 目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 冬季ボーナスについて	12
(1) 支給予定動向	12
(2) 支給予定額	14
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	16
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	16

## I. 県内企業の業況

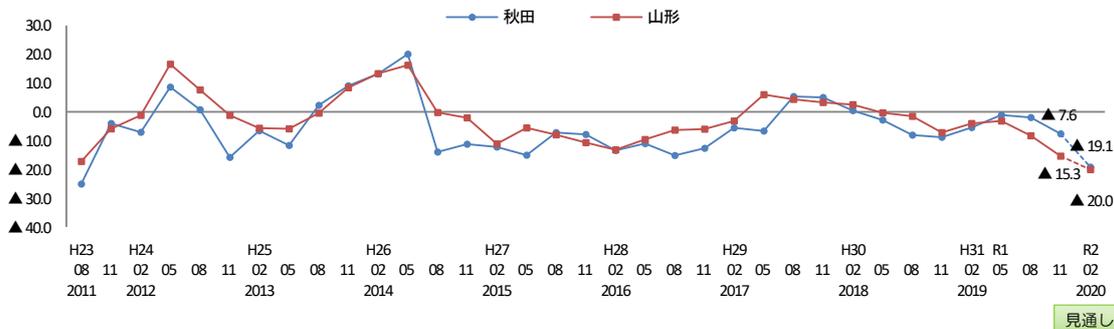
### 1. 概況

#### ～ 景況感は2期連続で悪化。先行きも引き続き慎重な見通し ～

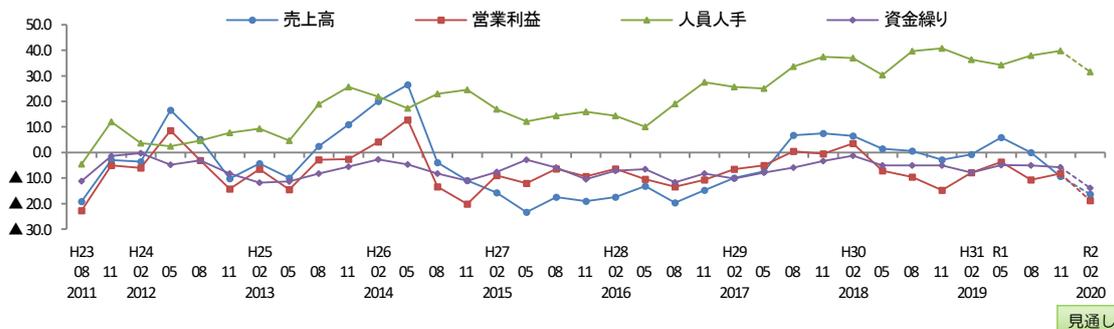
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲7.6（前回調査比 5.7ポイント下落）と2期連続の悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」が改善した一方、「売上高」と「資金繰り」はともに悪化し、「人員人手」は2期連続でプラス幅が拡大した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲19.1（今回調査比 11.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。その背景として、原材料費・燃料費の高止まりや長引く人手不足の影響のほか、消費増税後の消費の落ち込みや米中貿易摩擦の影響などへの懸念があげられる。

図表 1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2018.11 (n=366)	▲ 8.8	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 2.8	▲ 14.8	40.7	▲ 5.0
2019.02 (n=367)	▲ 5.4	3.4	▲ 12.3	▲ 0.8	▲ 7.9	36.3	▲ 7.9
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	4.3	▲ 16.9	5.9	▲ 3.7	34.2	▲ 4.9
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 12.9	0.0	▲ 10.7	37.9	▲ 5.1
<b>2019.11 (n=367)</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>(▲ 5.7)</b>	<b>▲ 8.8</b>	<b>▲ 9.3</b>	<b>▲ 8.2</b>	<b>39.8</b>	<b>▲ 5.8</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.3)	(2.5)	(1.9)	(▲ 0.7)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 19.1</b>	-	-	<b>▲ 16.3</b>	<b>▲ 18.8</b>	<b>31.6</b>	<b>▲ 13.9</b>
今回調査比	(▲ 11.5)	-	-	(▲ 7.0)	(▲ 10.6)	(▲ 8.2)	(▲ 8.1)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

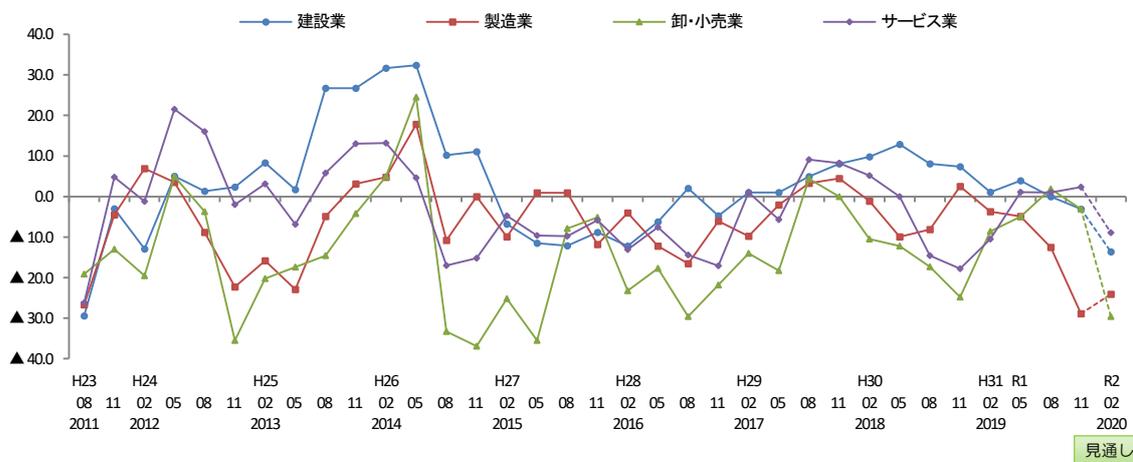
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、サービス業が2期ぶりに改善した一方、建設業は2期連続の悪化、製造業は4期連続の悪化、卸・小売業は4期ぶりの悪化と、3業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、製造業で改善、その他の3業種では悪化が見込まれている。

図表3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2018.11 (n=366)	▲ 8.8	7.4	2.5	▲ 24.8	▲ 17.8
2019.02 (n=367)	▲ 5.4	1.1	▲ 3.7	▲ 8.6	▲ 10.5
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	3.9	▲ 4.9	▲ 5.0	1.1
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	0.0	▲ 12.5	1.9	1.0
<b>2019.11 (n=367)</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>▲ 28.9</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>2.3</b>
前回調査比	(▲ 5.7)	(▲ 3.1)	(▲ 16.4)	(▲ 5.0)	(1.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 19.1</b>	<b>▲ 13.6</b>	<b>▲ 24.1</b>	<b>▲ 29.6</b>	<b>▲ 8.9</b>
今回調査比	(▲ 11.5)	(▲ 10.5)	(4.8)	(▲ 26.5)	(▲ 11.2)

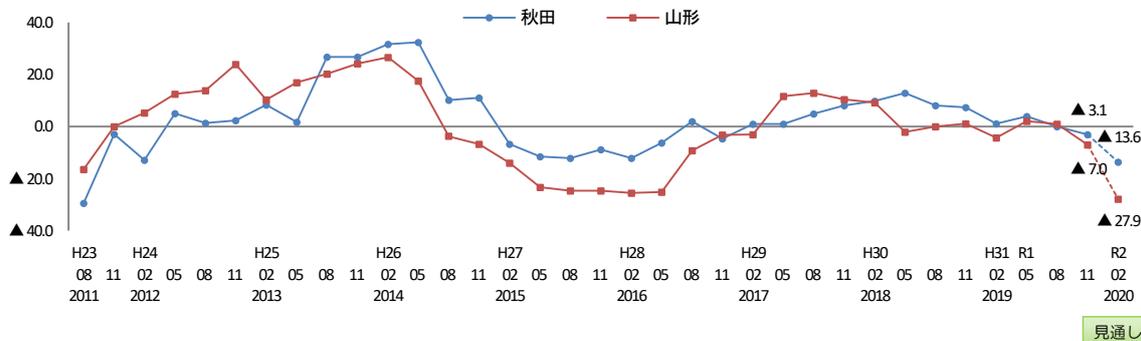
## (2) 業種別DI値の動向

### ① 建設業

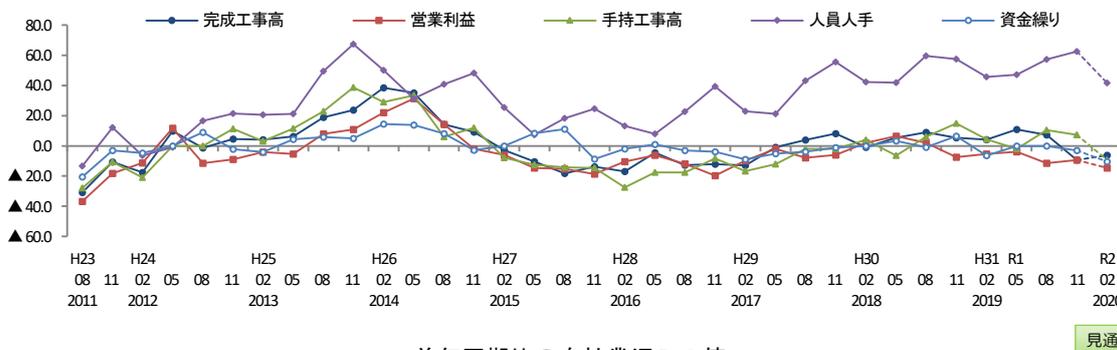
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲3.1（前回調査比3.1ポイント下落）と2期連続の悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「営業利益」が改善した一方、「完成工事高」、「手持工事高」、「資金繰り」は悪化した。また、「人員人手」は3期連続でプラス幅が拡大し、人手不足感が一段と強まっている。各社のコメントからみると、公共工事が減少傾向にある一方、民間需要においては弱いながらも一部で消費税前の駆け込み需要の影響がうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲13.6（今回調査比10.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表4 建設業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表5 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

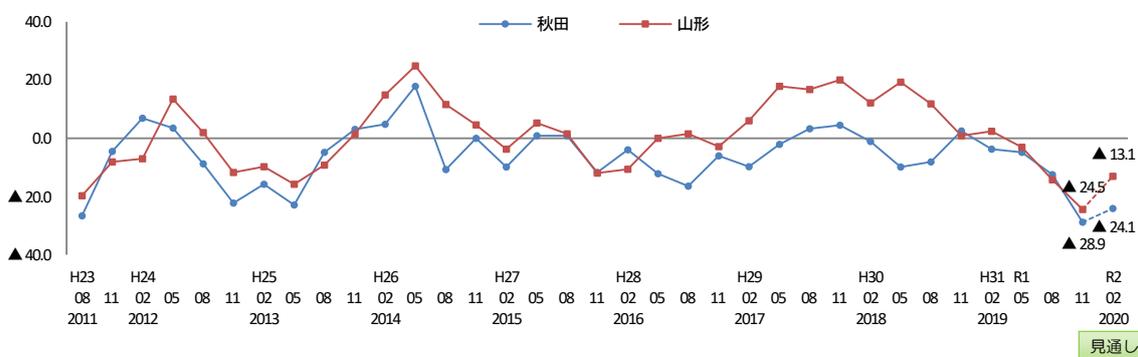
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2018.11 (n=94)	7.4	▲0.7	5.0	5.3	▲7.5	14.9	57.5	6.4
2019.02 (n=94)	1.1	▲6.3	▲4.2	4.2	▲5.3	4.3	45.7	▲6.4
2019.05 (n=102)	3.9	2.8	▲10.6	10.8	▲3.9	▲1.9	47.1	0.0
2019.08 (n=96)	0.0	▲3.9	▲6.8	7.3	▲11.5	10.5	57.3	0.0
<b>2019.11 (n=96)</b>	<b>▲3.1</b>	<b>(▲3.1)</b>	<b>6.3</b>	<b>▲9.4</b>	<b>▲9.4</b>	<b>7.3</b>	<b>62.5</b>	<b>▲3.1</b>
前回調査比	-	-	-	(▲16.7)	(2.1)	(▲3.2)	(5.2)	(▲3.1)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲13.6</b>	-	-	<b>▲6.2</b>	<b>▲14.6</b>	<b>▲9.4</b>	<b>41.7</b>	<b>▲10.4</b>
今回調査比	(▲10.5)	-	-	(3.2)	(▲5.2)	(▲16.7)	(▲20.8)	(▲7.3)

## ② 製造業

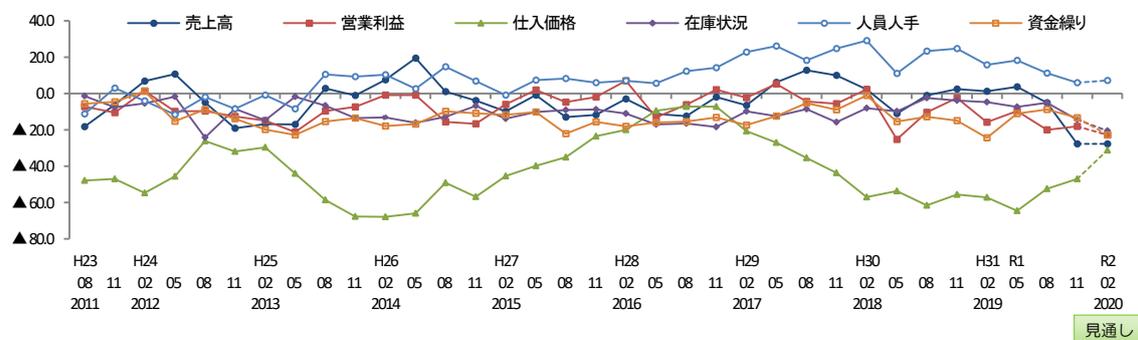
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲28.9（前回調査比 16.4 ポイント下落）と4期連続で悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「営業利益」と「仕入価格」が改善した一方、「売上高」、「在庫状況」、「資金繰り」は悪化し、「人員人手」はプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、米中貿易摩擦の影響などから電気機械などを中心に低調な様子がうかがえた。また、消費増税前の駆け込み需要についてのコメントはあまりみられなかった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲24.1（今回調査比 4.8 ポイント増加）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

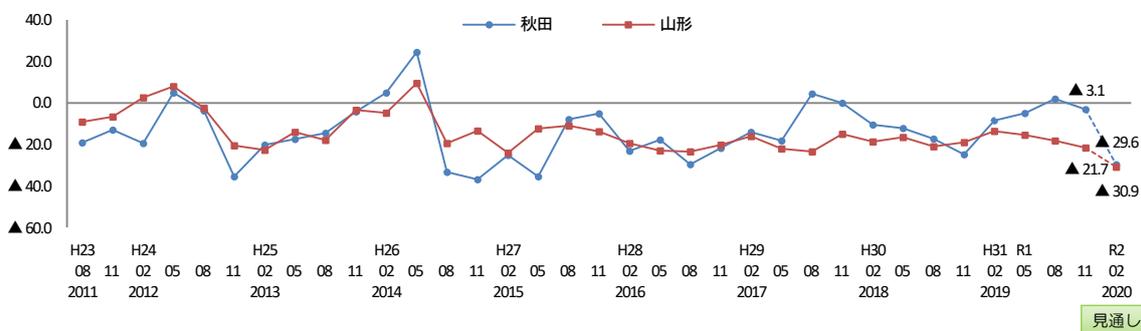
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2018.11(n=81)	2.5	10.6	8.1	2.5	▲ 2.5	▲ 55.6	▲ 3.8	24.7	▲ 14.9
2019.02(n=82)	▲ 3.7	▲ 6.2	▲ 17.3	1.2	▲ 15.8	▲ 57.3	▲ 4.8	15.8	▲ 24.4
2019.05(n=82)	▲ 4.9	▲ 1.2	▲ 26.8	3.7	▲ 9.7	▲ 64.6	▲ 7.3	18.3	▲ 11.0
2019.08 (n=80)	▲ 12.5	▲ 7.6	▲ 19.5	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 52.5	▲ 5.0	11.3	▲ 8.8
<b>2019.11 (n=83)</b>	<b>▲ 28.9</b>	<b>(▲ 16.4)</b>	<b>▲ 16.3</b>	<b>▲ 27.7</b>	<b>▲ 18.0</b>	<b>▲ 47.0</b>	<b>▲ 14.4</b>	<b>6.0</b>	<b>▲ 13.3</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 22.7)	(2.0)	(5.5)	(▲ 9.4)	(▲ 5.3)	(▲ 4.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.1</b>	-	-	<b>▲ 27.7</b>	<b>▲ 22.9</b>	<b>▲ 31.3</b>	<b>▲ 20.5</b>	<b>7.3</b>	<b>▲ 22.9</b>
今回調査比	(4.8)	-	-	(0.0)	(▲ 4.9)	(15.7)	(▲ 6.1)	(1.3)	(▲ 9.6)

### ③ 卸・小売業

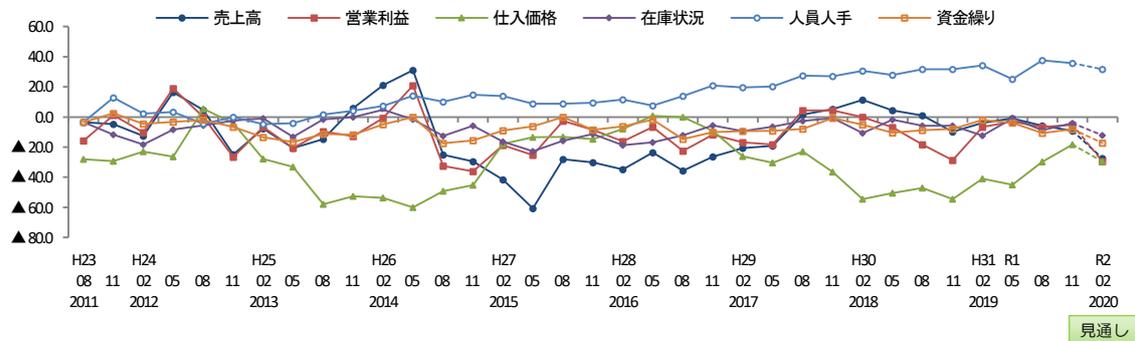
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲3.1（前回調査比5.0ポイント下落）と4期ぶりに悪化した。「各種DI値（前年同期比）」では、「営業利益」、「仕入価格」、「在庫状況」、「資金繰り」が改善した一方、「売上高」は悪化した。また、「人員人手」は2期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、消費増税前の駆け込み需要の動きは限定的であったものの、増税後は自動車関連など多くの企業で需要の落ち込んでいる状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲29.6（今回調査比26.5ポイント下落）と、消費税増税後の反動減への懸念もあり、大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

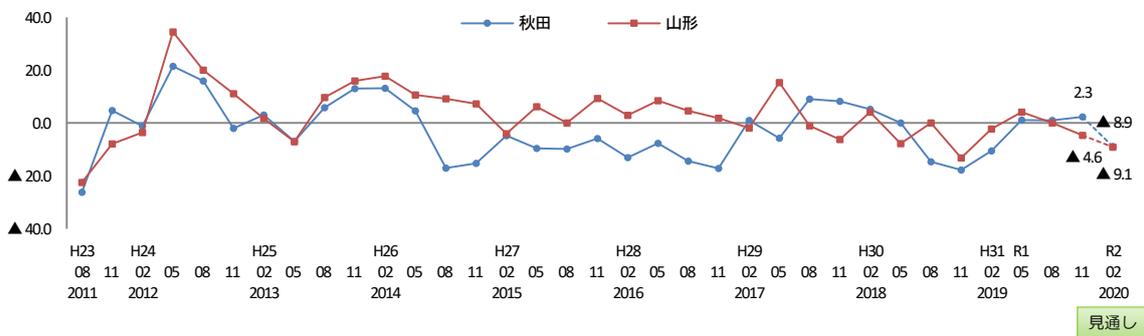
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2018.11 (n=101)	▲ 24.8	▲ 7.5	▲ 7.7	▲ 9.9	▲ 28.7	▲ 54.5	▲ 5.9	31.7	▲ 8.0
2019.02 (n=105)	▲ 8.6	16.2	▲ 12.9	▲ 3.8	▲ 6.7	▲ 40.9	▲ 12.4	34.3	▲ 1.9
2019.05 (n=100)	▲ 5.0	3.6	▲ 19.0	▲ 1.0	▲ 3.0	▲ 45.0	▲ 1.0	25.0	▲ 4.0
2019.08 (n=104)	1.9	6.9	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 6.7	▲ 29.8	▲ 8.7	37.5	▲ 10.6
2019.11 (n=98)	▲ 3.1	(▲ 5.0)	▲ 22.1	▲ 9.2	▲ 5.1	▲ 18.4	▲ 4.1	35.7	▲ 8.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.4)	(1.6)	(11.4)	(4.6)	(▲ 1.8)	(2.4)
先行き見通し	▲ 29.6	-	-	▲ 27.5	▲ 29.6	▲ 29.6	▲ 12.2	31.7	▲ 17.3
今回調査比	(▲ 26.5)	-	-	(▲ 18.3)	(▲ 24.5)	(▲ 11.2)	(▲ 8.1)	(▲ 4.0)	(▲ 9.1)

### ④ サービス業

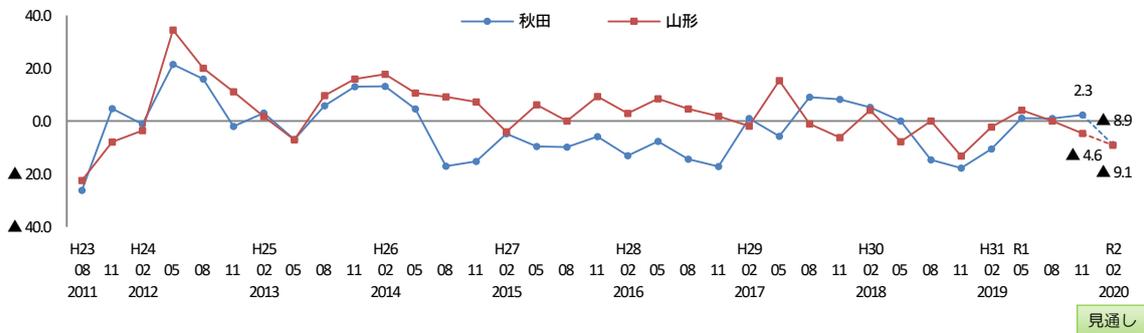
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は2.3（前回調査比 1.3 ポイント上昇）と2期ぶりの改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」、「営業利益」、「資金繰り」がいずれも改善しており、「人員人手」については2期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、ホテル・旅館関連で宿泊需要の拡大による回復感がうかがえたほか、建機レンタルでも改善の動きがみられた。また、総じてみれば消費増税前の駆け込み需要に関するコメントは少なかった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲8.9（今回調査比 11.2 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2018.11(n=90)	▲ 17.8	▲ 3.2	▲ 11.3	▲ 7.8	▲ 17.8	47.8	▲ 4.5
2019.02(n=86)	▲ 10.5	7.3	▲ 15.6	▲ 4.7	▲ 4.7	47.6	▲ 1.1
2019.05(n=88)	1.1	11.6	▲ 11.6	10.2	1.1	44.4	▲ 5.6
2019.08 (n=95)	1.0	▲ 0.1	▲ 12.5	3.2	▲ 6.3	41.1	▲ 1.1
<b>2019.11 (n=90)</b>	<b>2.3</b>	<b>(1.3)</b>	<b>▲ 3.1</b>	<b>7.7</b>	<b>▲ 1.1</b>	<b>51.1</b>	<b>1.1</b>
前回調査比	-	-	-	(4.5)	(5.2)	(10.0)	(2.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 8.9</b>	-	-	<b>▲ 4.4</b>	<b>▲ 7.7</b>	<b>43.3</b>	<b>▲ 5.5</b>
今回調査比	(▲ 11.2)	-	-	(▲ 12.1)	(▲ 6.6)	(▲ 7.8)	(▲ 6.6)

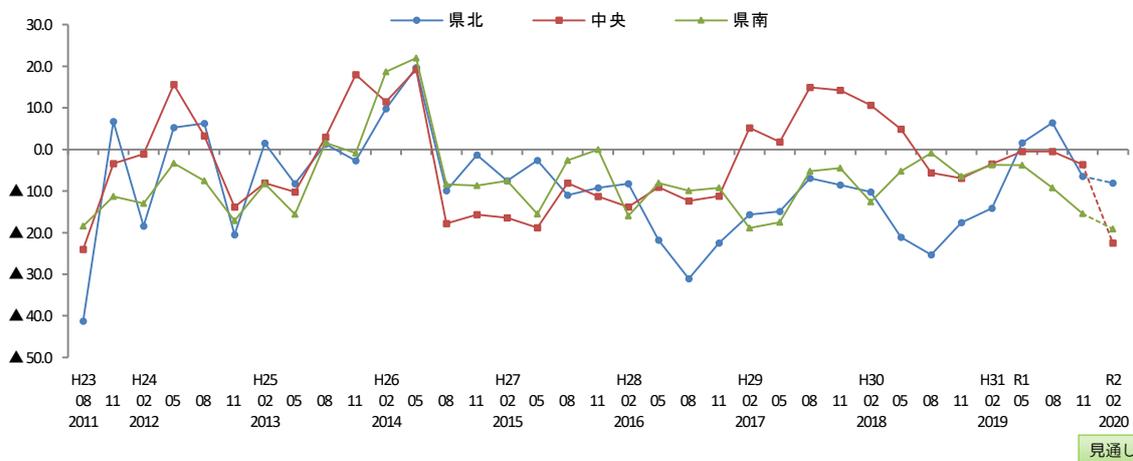
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲6.5（前回調査比12.9ポイント下落）、中央は▲3.6（同3.1ポイント下落）、県南は▲15.4（同6.2ポイント下落）と3地域すべてで悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、3地域すべてで悪化の見通しとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2018.11 (n=366)	▲ 8.8	▲ 17.6	▲ 6.9	▲ 6.5
2019.02 (n=367)	▲ 5.4	▲ 14.1	▲ 3.5	▲ 3.7
2019.05 (n=372)	▲ 1.1	1.6	▲ 0.5	▲ 3.8
2019.08 (n=375)	▲ 1.9	6.4	▲ 0.5	▲ 9.2
<b>2019.11 (n=367)</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>▲ 6.5</b>	<b>▲ 3.6</b>	<b>▲ 15.4</b>
前回調査比	(▲ 5.7)	(▲ 12.9)	(▲ 3.1)	(▲ 6.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 19.1</b>	<b>▲ 8.1</b>	<b>▲ 22.5</b>	<b>▲ 19.1</b>
今回調査比	(▲ 11.5)	(▲ 1.6)	(▲ 18.9)	(▲ 3.7)

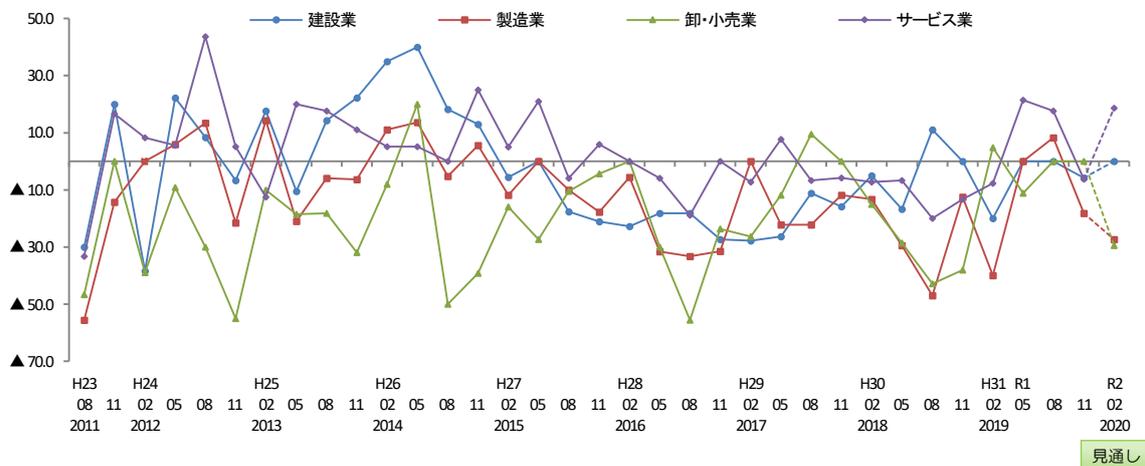
## (2) 地域別DI値の動向

### ① 県北

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲6.5（前回調査比 12.9 ポイント下落）と5期ぶりに悪化した。業種別では、卸・小売業が横ばいとなったものの、その他の3業種では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲8.1（今回調査比 1.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、建設業とサービス業が改善、製造業と卸・小売業では悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

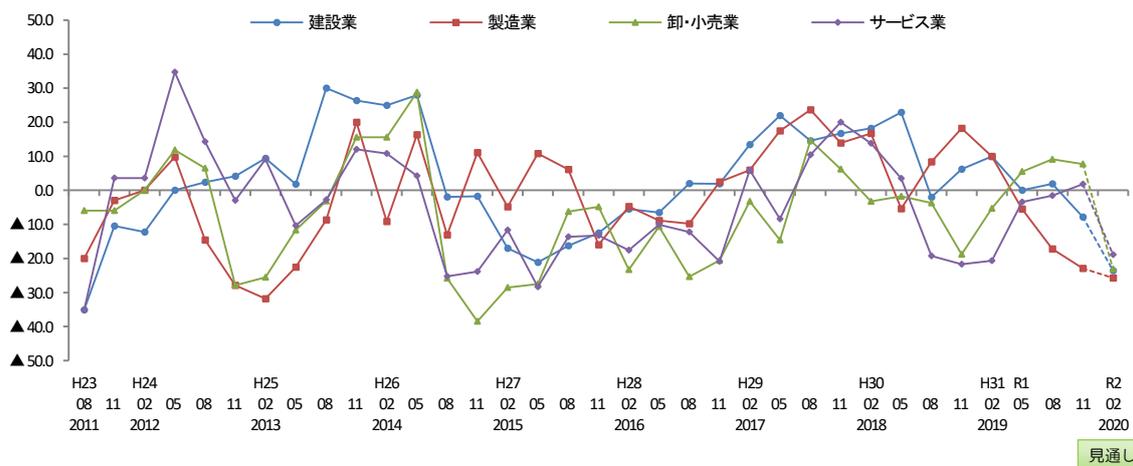
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2018.11 (n=68)	▲ 17.6	0.0	▲ 12.5	▲ 38.1	▲ 13.3
2019.02 (n=64)	▲ 14.1	▲ 20.0	▲ 40.0	4.8	▲ 7.7
2019.05 (n=62)	1.6	0.0	0.0	▲ 11.1	21.4
2019.08 (n=63)	6.4	0.0	8.3	0.0	17.6
<b>2019.11 (n=61)</b>	<b>▲ 6.5</b>	<b>▲ 5.8</b>	<b>▲ 18.2</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 6.2</b>
前回調査比	(▲ 12.9)	(▲ 5.8)	(▲ 26.5)	(0.0)	(▲ 23.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 8.1</b>	<b>0.0</b>	<b>▲ 27.3</b>	<b>▲ 29.4</b>	<b>18.7</b>
今回調査比	(▲ 1.6)	(5.8)	(▲ 9.1)	(▲ 29.4)	(24.9)

## ② 中央

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲3.6（前回調査比 3.1 ポイント下落）と4期ぶりの悪化となった。業種別では、サービス業が改善となった一方、その他の3業種では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲22.5（今回調査比 18.9 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別にみると、すべての業種で悪化の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

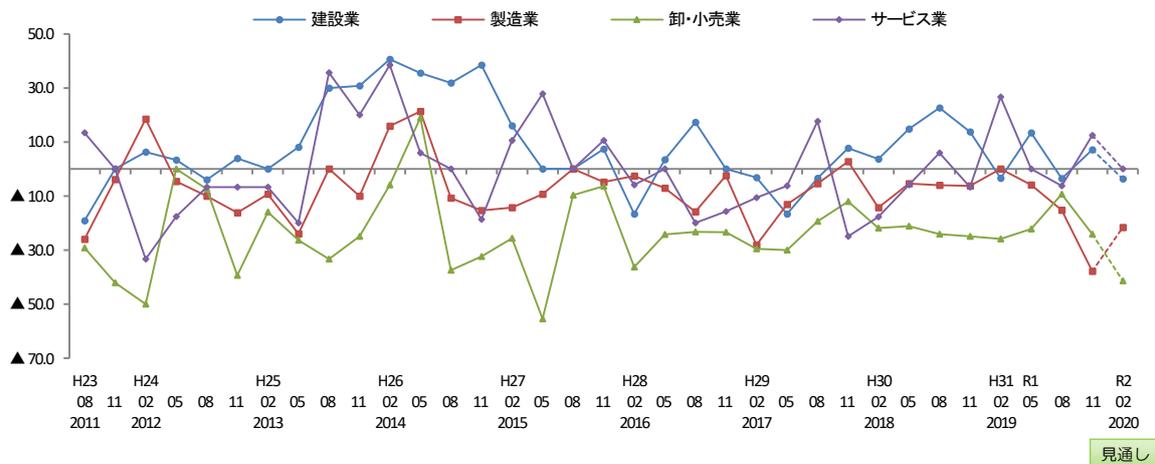
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2018.11 (n=190)	▲ 6.9	6.2	18.2	▲ 18.8	▲ 21.7
2019.02 (n=195)	▲ 3.5	10.0	10.0	▲ 5.3	▲ 20.7
2019.05 (n=204)	▲ 0.5	0.0	▲ 5.5	5.5	▲ 3.4
2019.08 (n=203)	▲ 0.5	1.9	▲ 17.2	9.1	▲ 1.6
<b>2019.11 (n=196)</b>	<b>▲ 3.6</b>	<b>▲ 7.8</b>	<b>▲ 22.9</b>	<b>7.7</b>	<b>1.8</b>
前回調査比	(▲ 3.1)	(▲ 9.7)	(▲ 5.7)	(▲ 1.4)	(3.4)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 22.5</b>	<b>▲ 23.6</b>	<b>▲ 25.7</b>	<b>▲ 23.1</b>	<b>▲ 18.9</b>
今回調査比	(▲ 18.9)	(▲ 15.8)	(▲ 2.8)	(▲ 30.8)	(▲ 20.7)

### ③ 県南

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲15.4（前回調査比 6.2 ポイント下落）と3期連続で悪化した。業種別にみると、建設業とサービス業が改善となった一方、製造業と卸・小売業が悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲19.1（今回調査比 3.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、製造業で改善が見込まれている一方、その他の3業種では悪化の見通しとなっている。

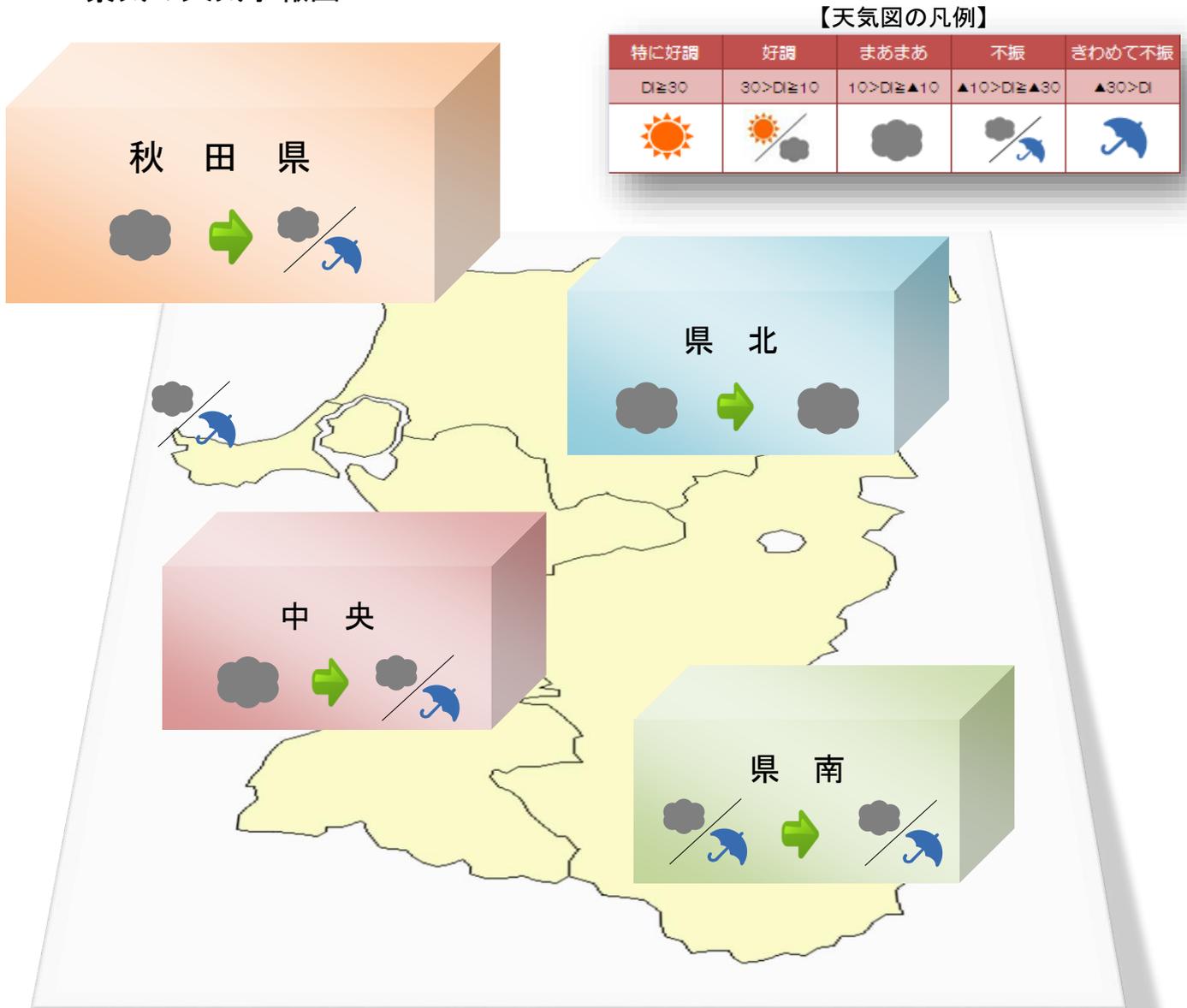
図表 15 県南業種別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2018.11 (n=108)	▲ 6.5	13.8	▲ 6.3	▲ 25.0	▲ 6.7
2019.02 (n=108)	▲ 3.7	▲ 3.4	0.0	▲ 25.9	26.6
2019.05 (n=106)	▲ 3.8	13.4	▲ 5.9	▲ 22.2	0.0
2019.08 (n=109)	▲ 9.2	▲ 3.5	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 6.3
<b>2019.11 (n=110)</b>	<b>▲ 15.4</b>	<b>7.1</b>	<b>▲ 37.8</b>	<b>▲ 24.1</b>	<b>12.5</b>
前回調査比	(▲ 6.2)	(10.6)	(▲ 22.6)	(▲ 14.8)	(18.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 19.1</b>	<b>▲ 3.6</b>	<b>▲ 21.6</b>	<b>▲ 41.4</b>	<b>0.0</b>
今回調査比	(▲ 3.7)	(▲ 10.7)	(16.2)	(▲ 17.3)	(▲ 12.5)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

### Ⅲ. 特別調査

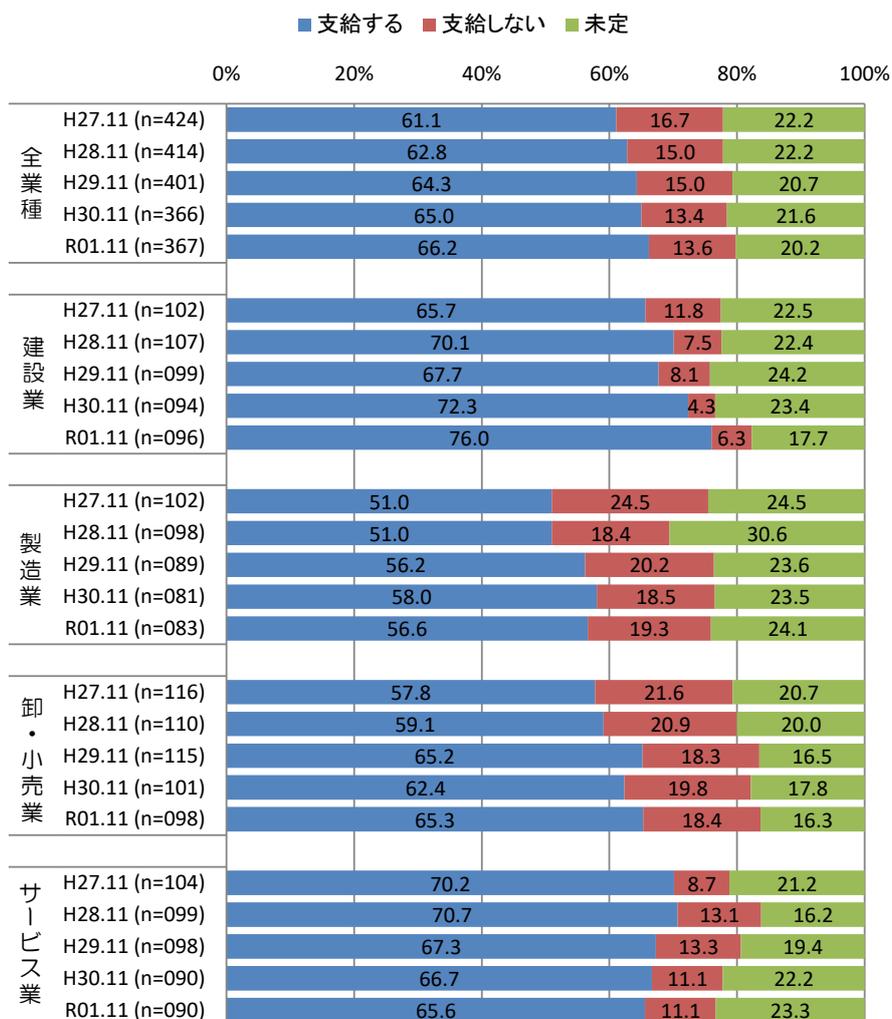
#### 1. 冬季ボーナスについて

##### (1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、「支給する」と回答した企業の割合は全業種では66.2%（前年比1.2ポイント上昇）と、前年に比べて若干上昇し、5期連続での上昇となった。一方、「支給しない」と回答した企業の割合は13.6%（同0.2ポイント上昇）と小幅ながら前年より上昇した。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が76.0%（同3.7ポイント上昇）、卸・小売業が65.3%（同2.9ポイント上昇）と、前年に比べて上昇となった一方、製造業では56.6%（同1.4ポイント低下）、サービス業では65.6%（同1.1ポイント低下）と、前年より低下となった。

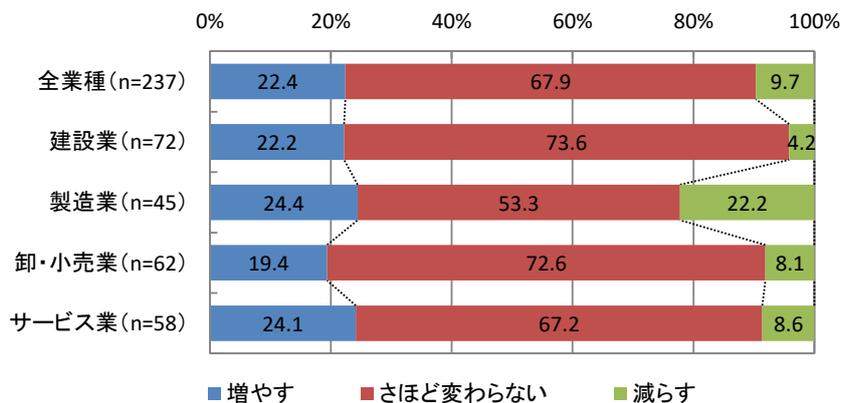
図表 16 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種で見ると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が67.9%で最も高い割合を占めた。また、「増やす」との回答は22.4%で、「減らす」の割合（9.7%）を12.7ポイント上回った。

業種別にみると、「増やす」と回答した企業の割合が最も高いのは製造業（24.4%）で、一方、最も低いのは卸・小売業（19.4%）となった。また、「減らす」との回答は製造業（22.2%）で他の業種より高い割合を示している。

図表 17 業種別「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



## (2) 支給予定額

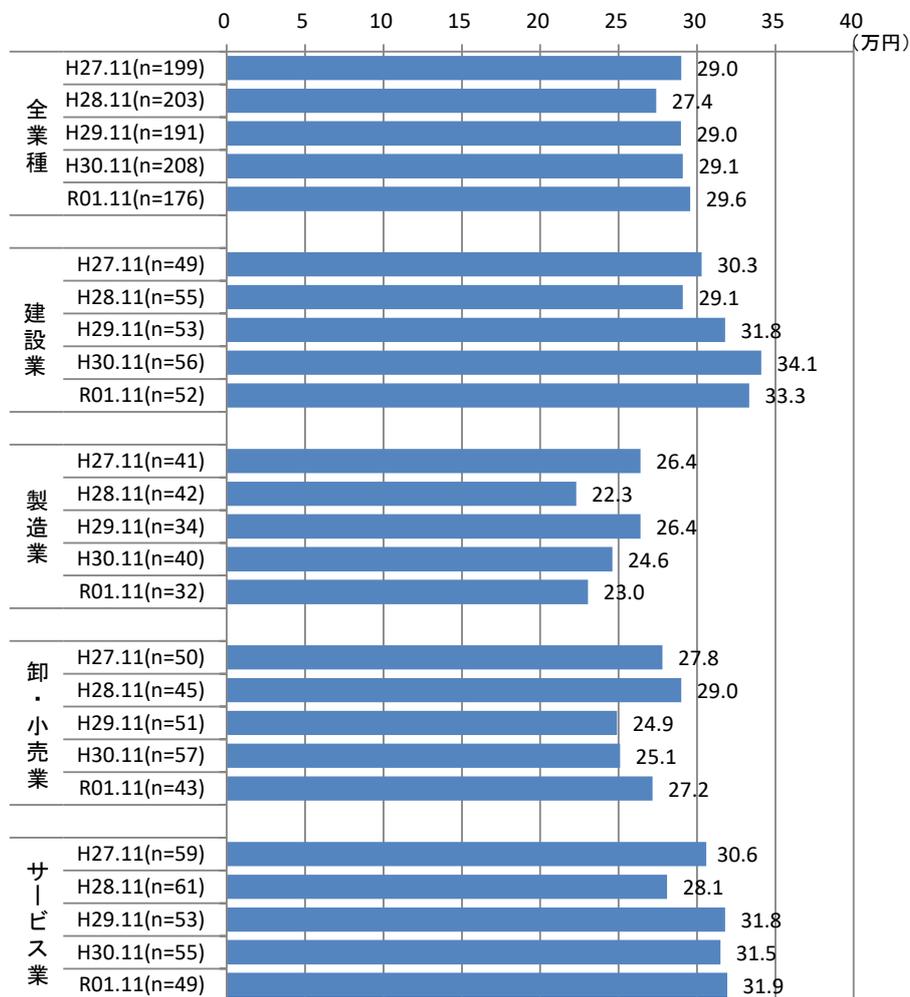
冬季ボーナスの支給予定額は全業種平均で29.6万円と、昨年に比べ0.5万円の増加が見込まれている。

業種別に見ると、建設業の33.3万円が最も高く、次いでサービス業の31.9万円が続き、以下は卸・小売業の27.2万円、製造業の23.0万円の順となった。昨年に比べて卸・小売業とサービス業では増加が見込まれている一方、建設業と製造業では低下の見通しとなっている。

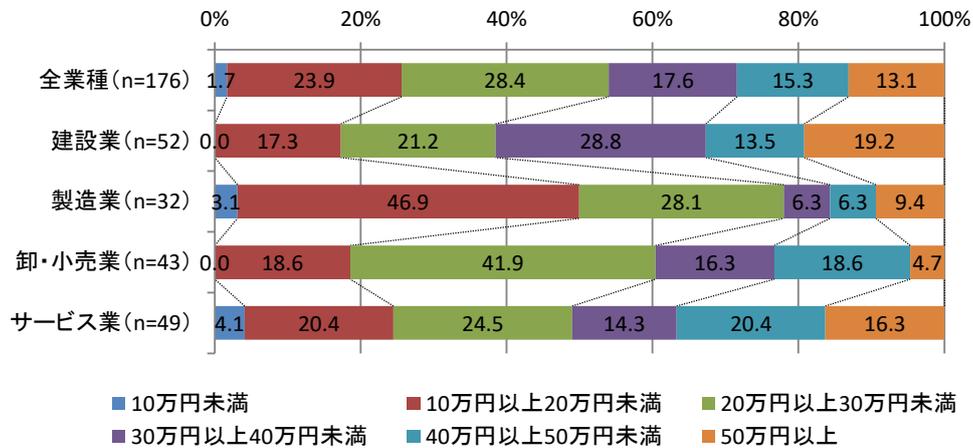
平均支給予定額は、全業種では「20万円以上30万円未満」が28.4%と、最も多くなっている(図表19)。

平均支給予定月数は、全業種では「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」が42.9%と、最も多くなっている(図表20)。

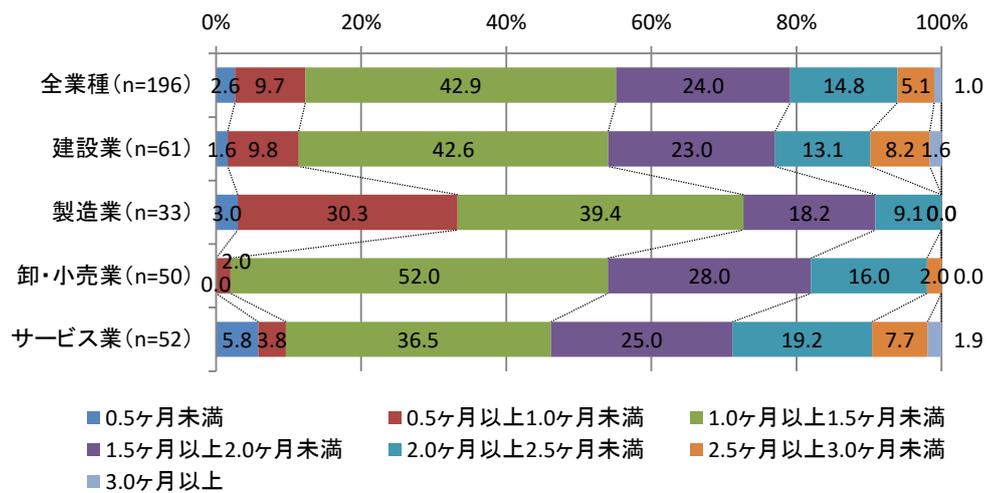
図表 18 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移



図表 19 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」



図表 20 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	24	18	25	21	88
中央	68	53	73	81	275
県南	37	52	41	23	153
合計	129	123	139	125	516

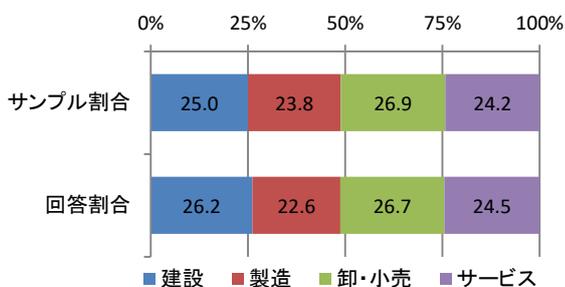
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	17	11	17	16	61
中央	51	35	52	58	196
県南	28	37	29	16	110
合計	96	83	98	90	367

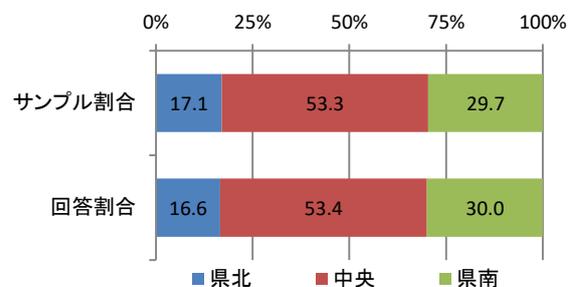
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	70.8	61.1	68.0	76.2	69.3
中央	75.0	66.0	71.2	71.6	71.3
県南	75.7	71.2	70.7	69.6	71.9
合計	74.4	67.5	70.5	72.0	71.1

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2019年11月1日（金）～14日（木）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価格（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例）自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」 （「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤／佐藤

### ・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

### ・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>